

令和3年度 大豆栽培管理情報第3号

令和3年8月発行

大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

播種期が遅れた圃場では、栽培期間中の生育量確保が課題となっています。
生育期間中の栽培管理を適期に確実にを行い、収量・品質を確保しましょう！

3. 生育期の管理作業（中編）

1) ハスモンヨトウ防除 ～少ない内が防除の適期！～

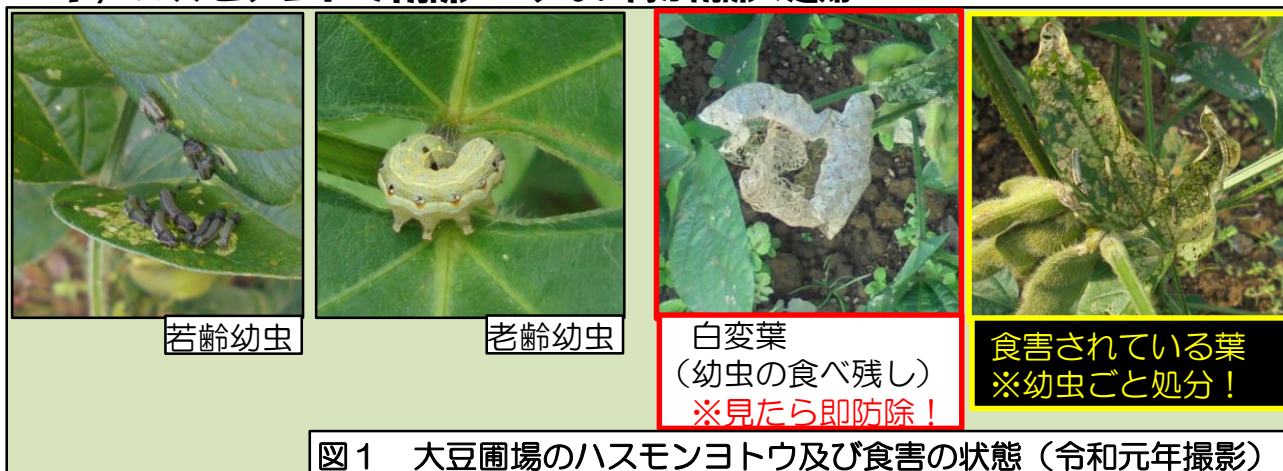


図1 大豆圃場のハスモンヨトウ及び食害の状態（令和元年撮影）

（参考）ハスモンヨトウ防除に用いる殺虫剤

| 薬剤名 (ハスモンヨトウ用) | 散布時の注意 | | 使用上の注意 | |
|-------------------|--------|----------|---------|------|
| | 希釈倍率 | 散布量/10a | 使用時期 | 回数 |
| プレバソフフロアブル5 | 4000倍 | 100～300L | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| トルネードエースDF | 2000倍 | | | |

（参考）散布量別使用量

| 希釈倍率 | 散布量/10a | | |
|-------|---------|-------|-------|
| | 100L | 200L | 300L |
| 2000倍 | 50ml | 100ml | 150ml |
| 4000倍 | 25ml | 50ml | 75ml |

ポイント

- ・ハスモンヨトウの幼虫はごく短い間に成虫となり、産卵し始め急激に数が増えます。防除が遅れ、圃場内に成虫と幼虫（卵）が混在しては被害が増えるばかりです。**白変葉に注意し、増えない内に防除しましょう。**
- ・表から見えなくても、ハスモンヨトウは地面や下葉の裏などに隠れていることがあります。殺虫剤を散布する場合は、大豆全体に確実にかかるよう注意しましょう。
- ・ハスモンヨトウが薬剤抵抗性を持たないように、同じ殺虫剤を繰り返し散布しないようにしましょう。
- ・**食害されている葉を見たら、幼虫ごと圃場外に持ち出し処分しましょう。**

2) 排水対策・中耕培土・雑草防除の徹底

- ①湿害による生育不良を起こさないよう、排水溝の崩れ・詰まりが生じていないか点検し、見つかったら速やかに補修しましょう。
- ②適期中耕培土を行い、根量を増やし収量・品質の向上を図りましょう。
- ③圃場に残留する雑草は大豆の生育を妨げるほか、汚損粒の原因にもなります。防除を徹底し、収穫時に残らないようにしましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html